

新日本婦人の会 緊急アンケート「不登校について聞かせてください」(2024年11月1日～6日実施)

2024年11月27日 新日本婦人の会

254人の回答者より寄せられた「文科省へ要望したいこと」(自由記述)

現在不登校／半年未満不登校(13人)

都道府県	回答者の年代	属性	文科省へ要望したいこと
北海道	50代	保護者(中学生)	これだけ不登校児が増えているのは学校が魅力的な場所ではなく、大人も子どももやる事が多くて1日過ごせばぐったりという状況が影響していると思います。教師を増やし、教育内容含めゆとりのある学校にしてほしいです。
東京	40代	保護者(中学生)	こんなに不登校が増えているのは、社会のせいです。学ぶことは本来喜びであり、苦痛になるものではないはずです。本当の教育とはなんなのか、諸国や歴史に学び、学びの本質を理解した教員が増えることを望んでいます。
千葉	40代	保護者(小学生)	半強制的なマスク学校生活や日本社会のひずみが、子どもたちが感じてしまっているのではないかと思う。子どもたちは与えられるものだけでなく、自分で考えて行動できるように。
神奈川	40代	保護者(中学生)	1クラスの人数に対して1人から2人の先生でフォローできるキャパでは無いのでは無いでしょうか。右にならえという時代ではいのでこのシステムを変える時なのでは？
静岡	40代	保護者(小学生)	発達障害児の個別指導の学びの支援。(集団が無理なので)書字が苦手でも入力に対応してくれること。
静岡	30代	保護者(小学生)	学校側の理解や担任によって対応が様々です。子ども達は教育を受ける義務があります。学校に行けなかったらその義務はなくなりますか？子ども達一人一人に税金をかけているはずですが！不登校でも同じ教育が受けられるようにしてほしい！学校内でも学校外でも構いません。とにかく居場所が欲しい。情報も欲しい。不登校の生徒はお座なりですか？LGBTと同じようにもっと広めて、不登校ではない生徒、保護者にも学校に行けない意味を理解して欲しいです。
静岡	40代	保護者(小学生,中学生)	不登校について、学校を通してでなく、実際の家庭家庭それぞれの声を吸い上げてほしい。例えば、不登校の親の会など、当事者からの意見を集めて教育・子育て政策に活かしてほしいです。
石川	30代	保護者(小学生)	学校教育への負担を減らして欲しい。行ってなくても同じようにかかる費用もたくさんあり、負担が大きい。不登校に限らず学校にかかる費用の負担が減れば保護者の負担も軽くなると思う。教育現場がかなり大変な状況になっている中で先生たちの負担も大きく一人ひとりに向き合える時間も少なくなっているのではないか。本来学校は楽しいところ、であるはずが、そうではなくなっているところに原因があるのではないかと感じてしまいます。
長野	40代	保護者(小学生)	園ではこどもの主体性を重んじる保育生活、小学校での集団生活との差が大きいと感じています。学校へ行ってない間は給食費をせめて免除してほしい。本当に貧困な世の中になったな、と感じています。
大阪	50代	保護者(小学生)	学びの多様化を推進して欲しい。学校の一斉授業に合わない子は個別に学べるようにして欲しい。
沖縄	40代	保護者(小学生)	勉強意欲はあるが行けない子のためにコロナ禍のように、自宅にいてリモートで授業ができないものか、コロナでその環境が出来たのに、どうして今は出来ないと言うのか。
沖縄	30代	保護者(小学生)	公立があわなくても、その他の環境が会う可能性もある。その際に経済的な補助があると選択肢として選択しやすい。(ずっとお家にいるので電気代、食費はあがり。学校に在籍があるので給食費やPTA費、教材費などは支払い続けており、、地味に出費がかさむなあと感じています。)

大阪	40代	保護者 (小学生)	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの思いに寄り添える学校作りをしてほしいです。 先生、学校側も熱心にいろいろと考えてくれていますが、決められた決まりなどがあり、難しいことも多く、柔軟に対応していただきたいです。 ・校内居場所、どの学校にも設置し、子どもが誰でも利用できるようにしてほしいです。 ・校外居場所、教育センターなどに設置されているが、地域の中で、気軽に行け、話しやすく、相談できる人も常時いるようなところを作ってほしい。 ・スクールカウンセラーの方など、先生以外の第三者の大人が常日頃から子どもたちと関われるような体制にいただけると、子どもたち自身が相談しやすい大人が確保しやすい。 ・先生方だけでは人材不足で、保護者、地域の方など積極的に関わってもらえるような体制にほしい。 ・給食無償化、不登校の子がいる家庭への経済的支援をしてほしい。
----	-----	--------------	--

現在不登校／半年～1年未満不登校（23人）

都道府県	回答者の年代	属性	文科省へ要望したいこと
北海道	30代	保護者 (小学生)	不登校は不登校でも一括りにしないでほしいです。ただ学校に行けないだけではないのです。理由がそれぞれにあります。負担や不安もそれぞれです。シングル家庭は特に厳しいです。保護者のケアも不十分です。SNSにはたくさんの声があふれています。誰も聞いてくれない、どこへ言ったらいいのかもわからない、言っても伝わらないのが現状です。学校はうやむやにします。第三機関による不登校児、その保護者への再調査や対策をお願いしたいです。(現在不登校)
青森	50代	保護者 (小学生)	学校に行きたくても行けない、不登校は長期戦です。親も子も疲れきっています。どうか不登校の子どもにも希望の持てる学校改革、学び場、対策をお願いしたい。
福島	40代	保護者 (小学生、中学生)	フリースクール、ホームスクールへの経済的支援をしてほしい。 経済的に余裕のある家庭だけが、フリースクールを選択できる現状はおかしい。 様々な選択肢を認めてほしい。 フリースクール、ホームスクール、オンラインフリースクールに参加することでの、出席日数を認めてほしい。 進学に不利になるようなことがないように、対策をしてほしい。
東京	50代	保護者 (中学生)	ゴールデンウィーク明けより不登校となりました。子供より「サポートルームに通いたい」との意思表示があり手続きを取ろうとしたら、市の教育相談、サポートルームの見学、体験、担任との三者面談などの過程が多くあって時間がかかり(子供の申し出から5か月くらいかかった)、週1日くらいしか通っていません。早めにサポートルームに移行できれば、週の通学日が多かったのではないかとおもう
東京	40代	不登校当事者の児童・生徒	不登校になった場合、同じような地域の保護者とつながることが、学校外の学び場の情報を得たり、保護者の相談相手をえたり、とても重要なことですが、今の学校はまったくその機能を果たしていません。 学校から公的じゃない機関を紹介できない、他の保護者を紹介しては責任が取れないなどと言っておらず、せめて区の単位で、オープンに相談できるLINEグループを作るなどして、不登校の保護者には必ずそれを伝えるなど、つながるための措置をとっていただけないでしょうか？ 高校受験や中学にあがる段階では、地域の情報は本当に重要です。
東京	40代	保護者 (小学生、中学生)	文科省と現場がつながってません。 文科省がいかにいいこと言っても、現場は、校長次第で悪い方にもよい方にも傾いていきます。 子どもの権利をきちんと保証してほしいです。
東京	40代	保護者 (小学生、高校生)	フリースクールは送迎や金銭負担を考えると現実的に厳しく、校内で不登校の子が別室登校ができるよう早急に準備してほしい。 数年後では今の子供達は小学校または中学校を卒業してしまう。その間居場所がない。
茨城	50代	保護者 (高校生)	公立校にもしっかり予算をかけて私立校と設備などの差を少なくして欲しい。子供は古い設備より私立のキレイな設備を見て進路を決めがち。私立は生徒が多すぎて一人ひとりに十分な教育が出来ていない。

埼玉	20代	保護者 (小学生)	中学進学に向けて、公立中かフリースクールかを選ぶ前に公立中学での実際の授業の様子を見学してほしいと頼んだところ小学校の授業がある時間に見学してもらうことはできないとの回答だった。やはり学校側は学校に来て学ぶことをなによりも優先するべきと考えていて多様な学び方育ち方について考えてもらえないのではないかと感じてしまう。自分の進学先を自分で決めるために実際の様子を見学に行くことは真つ当な学びではないのか？机に静かに座っていただけるようになることが学びの本質ではないと思う。机に座ってられない子もそれ以外のどんな特性を持った子も、楽しく通えて少しでも気づきがある時間を過ごせるのなら、学校に求めることはそれ以上ない。ましてや公立の学校なのだから、学歴社会、受験を意識した学びより、すべての子どもが苦痛なく過ごせる環境を最優先してほしい。
千葉	50代	保護者 (中学生)	カウンセラーの常勤
山梨	40代	保護者 (小学生)	学校に行けなくなるととたんに学ぶ場所も同年代の子に会う場所もなくなる。そうなった時、親が全てをフォローしきれない。先生も大変すぎて、個別対応も限界がある。先生を増やして先生が余裕を持って対応できるようにしてほしい。みんなで同じように学ぶのは限界がある。ついていけない子は自己責任じゃなくて、フォローする体制を整えてほしい。教育予算、人員を増やして子どもたちの学ぶ権利を保証してください。
静岡	40代	保護者 (小学生)	学校にいつている子には給食無償化などの話があるが、行けていない子に対しては無関係。また、学校以外で学ぶ子に対する経済的支援がほしい。
愛知	40代	保護者 (高校生)	一人一人ケースは違うので、選択肢が多い方が柔軟に対応出来ると思います。
愛知	30代	保護者 (小学生)	経済負担が大きいので助成金があると助かる
岐阜	50代	保護者 (小学生)	適正のない教員を人手不足という理由でのさばらせないでほしい 子どもたちが苦しい毎日を強いられ、結果不登校となり教員は異動して働き続けるなんていくらなんでもひどすぎます
三重	10代	保護者 (中学生)	子どもの意見をもっと尊重してほしい 子ども達は学校、自宅、地域で困っている事を話す聞いてもらえる場所を大人達が聞く姿勢が必要と思います
富山	40代	保護者 (中学生)	不登校は、子供によっていろいろな理由や状態があるのでひとくくりにしないでほしい。
京都	40代	保護者 (小学生)	本人も親も辛いのです。少人数学級できめ細やかな対応をすることで、これからの不登校を作り出さない環境を整えてほしい。不登校になったら、担任だけでは対応できません。でもどの学校にも不登校はいるので、学習保障や信頼関係を築ける専任の先生を配置してほしい。スクールカウンセラーは、複数校を兼任で週1回しか相談日がないので、専任で配置してほしい。普段から関わってくれたら、子どもの様子を見てもらえたり、相談だっで行きやすくなる。学校に行けないならフリースクールというのもそう簡単にはいかないのです。低学年での不登校は対象外だし、地域や学校で過ごすことを望んでいる親や子は、学校の中で安心できる居場所を望みます。
京都	40代	保護者 (小学生、中学生)	高IQ+発達障害の子は、特別支援教育からも漏れることが多く、相談しても「大丈夫ですよ」となりがちで心配性の親に見られがちで孤立しやすい。相談先を自分で見つけなければならない、支援の必要な児童であると認知してほしい

大阪	50代	保護者 (中学生)	<p>今年の担任の先生は良い先生ですが、やはり1学級の子どもの数が多いからか、なかなか手が回って無いのかなと思います。学校への連絡アプリのコドモンで、毎日の様子や勉強について連絡していますが、先生は毎日見てくださっていますが、最近先生から電話がありません。</p> <p>私は少しでも勉強へのモチベーションが保てるようにと思い、娘と話し合いながら勉強すすめています。私はフルタイムで働き、新婦人の活動しながら、子どもに向き合ってるつもりです。でも本当に1人で頑張っているのでもんどいんです。不登校の子どもたちのための教員配置をお願いしたいです。</p> <p>メールでも電話でも構わないのですが、少しでも学校の先生から励ましの声かけがあれば頑張れると思うんです。でも良い担任でも手が回らないことも多いと思うんです。若い先生ですし、辞めて欲しく無い。先生の負担にならないように、専任の先生の先生を配置して、担任の先生と連携し、また保護者の私と連携し、娘をこれからどう支えるか、一緒に考えて欲しい。私と娘に伴走してくれる伴走者が欲しい。</p> <p>今は私が医師と話し、生活の目標を作りながら過ごし、またそれを学校に伝えています。要は「私」が中心で動いています。細やかな配慮で提案が欲しい。頑張ってるねと言う細やかな声かけが欲しい。</p> <p>娘がいつ学校に行けるかわからないと言う先行き不透明さと、娘自身の焦りのなさが、(私1人が焦ってる)ツライです。また私が不登校になったことがないので、娘の気持ちもわからないので余計です。</p>
兵庫	40代	保護者 (中学生)	<p>これだけ不登校の人数が増えた今、公共教育だけでは取り残されない教育を実施する事が厳しいのは明らか。様々な学びの場所をサポートする、それを選択する家族を経済的に支援するのは急務かと思います。サポートを受けれる条件等を早急に整備して経済的な支援をお願いしたいと思います。子どもの今、は待ったなしです。来年度、来年度、といわず今すぐ取り組んで頂きたいです。</p>
高知	40代	保護者 (中学、高校生)	<p>朝起きれないなどがあり夏休み前に病院に受診相談したら今年度の予約は終わりましたと断られました。心身の不調で登校が出来ない状態でも、子どもがかかれる医療機関が少なすぎて受診すらできない状況を何とかしてほしいです。</p>
鹿児島	40代	保護者 (小学生)	<p>現在の学校のあり方に疑問があります。一斉指導的な教育は現在の社会、家族、子どもの現状に合っていないと思います。先生方の負担も大きいです。勉強ありきではなく、子どもたちが伸び伸びと学べる、自ら学問の魅力を感じられるような内容にして欲しいです。また子育ての責任が家族に重くのしかかっています。社会全体でみんなで子育てできるような仕組み作りを考えてほしい。学校が変われば不登校も減ると感じています。価値観の押し付け、こうしなければならぬ、と子どもたちを押さえつけるのではなく、子どもたちの力を引き出せるような場に変えてほしいです。</p>

現在不登校／1年～3年未満不登校（61人）

都道府県	回答者の年代	属性	文科省へ要望したいこと
北海道	40代	保護者 (小学生)	<p>子供と先生たちの心と命を守るために、業務量の見直し、優先順位の明確化、他部署への連携、教員が不適切な対応をした際に内部や子供や保護者から申告を受けた内容の精査と早急な処分が出来るよう第三者機関の常設をして欲しいです。また、校長や管理職については判断能力の適性検査を毎年必ず試験をクリアした方のみが着いて欲しいです。校長や管理職の判断の遅さから子供達や先生たちを、守るための初動や誠実さが足りない現実を少しでも変えていきたいです。</p>
青森	40代	保護者 (小学生)	<p>学校に対して子どもがNOをつきつけてどんどん不登校が増えているのに、学校は何も変わろうとしない。思い切って学校で決められたやること(指導要領など)をグッと減らして、子どもと教員が自由にやれる時間を増やしてほしい。</p>
青森	40代	保護者 (中学生)	<p>不登校の子の進学先の定時制高校の枠を増やして欲しい。田舎だと定時制高校の募集人数が少なく、希望者があふれている状態。不合格だと通信制高校しか選べない状態です。</p>
青森	50代	保護者 (小学生)	<p>不登校アドバイザーを養成して欲しい。</p> <p>外国では市町村にいて、子供に寄り添って登校できるようになっていると聞きます。</p> <p>国家資格にして人数を増やして欲しい。</p> <p>不登校支援者はボランティアが多いため、給料をあげてほしい。</p> <p>支援機関に行けない子もいるので、訪問してほしい。親も孤独なので相談に乗ってほしい。</p> <p>その子が何に悩んでいるのかに寄り添ってくれる大人の存在が欲しい。</p> <p>教育委員会の機関だと元教師が多く、学校側の考えで接してくるので、気持ちが伝わらないような気がします。考えも古く狭いです。</p> <p>ここを縮小してほしい。</p> <p>民間の機関の方が様々な職種経験者がいて、広い世界で考えてくれると思うので、このような機関に補助金を与えて増やして欲しいです。</p>

福島	50代	保護者 (中学生)	不登校により、親が働けなくなる場合が多い。それなのに、給食費、フリースクールの費用その他勉強を補う参考書、塾費など家庭の経済的負担が大きい。 そこを理解し、負担の軽減に努めてほしい。 不登校特別学校のように公的な学校を全国に素早く広めてほしい。 そのための教育機関の人材育成も合わせて行ってほしい。
東京	30代	保護者 (小学生, 中学生)	学校のシステムに無理があることは明らかです。通級や固定級ではサポートできない子供が多く、既存のサポートから外れた子供は家に閉じこもるしかない状況です。 一刻も早く、学校運営、教育方法の改善を求めます。
東京	50代	保護者 (小学生)	イジメを徹底して許さない体制作りを早急に実現して欲しいです。また、教員の質の向上のために、教師には優劣を付け給与で差が出る仕組みも作って欲しいです。
東京	40代	保護者 (小学生)	五感全て感覚過敏で高知能ASD傾向の子持ち、シングルマザーです。まず近くにあるフリースクールは全て断られ、在宅ワークで何とか食い繋いでいる状況なのに児童扶養手当は5年過ぎたら働けない状況を説明しろ！と言ってきますし、親の介護も重なり私は精神障害者になりました。教育相談室と学校も繋がっていないし児相も繋がっていないから毎回同じ話を何度もしなければいけないのが苦痛です。全ての子に学びの場をと言っていますが、我が子は学ぶ場所を金で買ってます。配慮してくれるのは有料学習塾だけです。義務教育って何ですか？
東京	40代	保護者 (中学生)	子供たちに、一律に学業に努めることを強いるのではなく、自由な生き方が許される場を作ってください。
栃木	50代	保護者 (中学生)	子供が学校へ戻ることは望んでいません。学校復帰が目標ではありません。1番望むのは、子供の心が元気になり安心して過ごせるようになる事です。そのためには、まずお母さんが元気になり安心して相談できる場所が必要です。その場所は親の会だと確信しています。親の会の必要性を学校も行政も理解してほしいと切に願います。
茨城	30代	保護者 (小学生)	競争教育をやめてほしい。
茨城	50代	保護者 (中学生)	起立性調節障害など、病気による不登校予備軍は相当数居ると思うが、不登校とカウントされていない。これらの実態も把握し、環境面から対策をしてもらいたい。また、自らの意志ではなく、病気により学ぶ機会を喪失してしまうケースへの対応はほとんどされていないため、親は離職したりして対応するしかなく、社会的損失は大きい。義務教育においては国として保障を考えてほしい。
埼玉	40代	保護者 (高校生)	子どもは小さい時から評価され、競争を強いられ、傷ついています。教員は多忙で疲弊しています。全ての学校が学びの多様化学校のように、自由でゆとりのある学びの場になってほしいです。
埼玉	40代	保護者 (小学生)	最近では昔に比べてたくさんの支援の手が広がってきているように思います。 困りごとは家庭によって様々かと思いますが、その困りごとが少しずつでも解決できるよう、ルールを変えられる立場の方々に改善変革していただけたら嬉しいです。
埼玉	40代	保護者 (小学生, 中学生)	多職種(児童精神、教育、保健、福祉、心理などの職員)、地域の親たち、当事者との希望や話し合いの場 コミュニティスクールの増設 不登校ビジネスに頼るしかない現状の解消
埼玉	40代	保護者 (小学生)	どんなに良いと思われる施策でも、子供が外に出ないことには享受できないため、そういった親への支援があると有り難いです。
千葉	40代	保護者 (小学生)	学校以外の居場所で元気に過ごしている子もいます。 どんな場所でも、その子が楽しく安心して過ごせるならいいと思っています。 そのための、家庭への金銭的サポートの体制を早急にお願ひしたいです！
千葉	50代	保護者 (小学生)	合成洗剤、柔軟剤等による化学物質過敏症の人が増えています。それによって教室に入れない、授業を受けられない子も。各教室に空気清浄機の設置をしてほしいです。
神奈川	40代	保護者 (小学生)	・学校外の居場所が少なく、選択肢が少ないので、本人に合う居場所が見つかるまでがつかず、高額のフリースクールやネットのフリースクールでは、利用者が限定されてしまうので、公的な居場所を増やしてほしいです。民間の居場所も安定的に存続できるよう、助成をしてほしいです。また、家庭にも交通費や昼食代、水光熱費などの補助をしてもらいたいです。不登校は問題行動ではなく、普通教育の中で支援できないことから起こることならば、それなりの支援ができる場所が必要だと思います。
神奈川	60代以上	保護者 (中学生)	オンライン授業の実施 少人数学級

神奈川	40代	保護者 (中学生)	学習の保証、専門的な知識のある職員を増やして欲しい
神奈川	60代以上	保護者 (中学生)	政府へ先生方に海外自由研修ができるようにして欲しい。政権が教育に干渉しないこと。カリキュラムに余裕を持たせること。
神奈川	50代	保護者 (小学生)	うちの子の在籍している小学校は現在のところ先生の欠員が4人から5人だそうです。それだけがうちの子の不登校の原因とは思いませんが、遠因にはそれもあるように思います。市が正規職員の先生をしっかり増やさなくてはいけない法律や運用になるように文科省は仕事をして頂きたいと思います。また、公立のフリースクールをもっと増やして、あまり遠くまで行かなくても通えるようにして頂けるとありがたいです。
神奈川	50代	保護者 (小学生)	スクールカウンセラーの充実、不登校児童をほったらかしにしない意識改革
山梨	40代	保護者 (中学生)	教員の理解をもっとすすめてほしい
静岡	30代	保護者 (小学生)	フリースクールを無償化にしてほしい
静岡	40代	保護者 (中学生)	公立中学の先生の業務を減らしてください。人不足は給与面でなく仕事量の問題だと外から見ていてもわかります。人として最低限の休息、余暇を過ごせるよう先生方の人権を保障してください。大人のストレスは子どもに影響します。
静岡	40代	保護者 (小学生,中学生)	ココロプランに基づいた実効性のある対策を行うため、学校現場の状況を踏まえた予算措置(教員の負担軽減をはかるための教員以外の職員配置の増加など)をとって欲しいです。
静岡	40代	保護者 (小学生,中学生)	学校に行きたくない、やる気がないのではないのです。行きたいのに行けない、学びたいのに学べないのです。ニュースで拝見した不登校の要因は、学校側だけの調査であって、本人、保護者側の想いはズレがあります。言葉にも語弊があります。居場所、学びの場を増やして頂きたい。学校からはみ出た子供は自信を失い、これからの日本を背負う子供達はそんな子供でこれからもっと溢れていきます。重い腰を上げしっかり早急に教育の改革を行うべきだと思います。
静岡	40代	保護者 (小学生,中学生)	学校でなくても平等に教育を受けられるようになってほしい
静岡	40代	保護者 (小学生,中学生)	先生方は、学校に来ている子の対応で精一杯だと思う。不登校への対応も、学校に来れないなら何もできないと言う感じ。安否確認と銘打って、月に1回数分顔を見せに来ようと言われるが、お互い何の利点もないと思う。中規模、大規模校ならスクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーが常勤にならないかなと思う。
静岡	40代	保護者 (小学生,中学生)	正規の先生を増やして少人数学級に。学校以外の学びも経済的な心配なく選べるようにしてほしい。
愛知	40代	保護者 (小学生)	学校の評価や画一化、競争、マニュアル化は子どもを苦しめています。一人一人が見える少人数学級、先生のゆとりを作って子どもへの対応ができるようにして欲しい。
愛知	50代	保護者 (中学生)	学校のあり方を見直して欲しい
愛知	40代	保護者 (小学生)	そもそも、30日以上学校へ行けていない子どもだけをカウントしているのはおかしいと思う。授業数が多過ぎ、必須科目も増え、子どもたちも先生も疲弊している。学校で学ぶことは何なのか、子どもの育ちを第一に考えて欲しいです！
愛知	40代	保護者 (小学生)	不登校になる手前、困難さを感じている子どもを支援につなげる手立てを実施してほしいです。
愛知	40代	保護者 (小学生)	とにかく少人数学級に今すぐしてほしいです。先生に相談したくても、忙しそうで話を聞いてもらうのも申し訳ないと感じます。ゆっくりと一人一人に対応できる余裕のある学校を望みます。
岐阜	40代	保護者 (小学生)	いじめで不登校になった子の教育を受ける権利を守れるよう、個別指導等への費用の援助をしてもらいたい。

岐阜	30代	保護者 (小学生)	公立の学校とオルタナティブスクール、地域など、全ての場所に関わる大人が情報や居場所、教えあいなど、様々なことを共有しあい、大人皆で子どもたちを育てていくという連携が取れるような仕組みにしたいです。
長野	40代	保護者 (小学生)	現在は発達障害の子やクラス、授業に馴染めない児童の数が急増しています。教育システムや学校の環境を変えていかなければ学校は崩壊すると思います。まず、先生方には学習指導の前に子供について学ぶ時間を設けるべきだと思います。そして、先生方の事務的負担を減らして子供達に当ててもらうシステム作り、給食の質を上げることを要望します。
長野	40代	保護者 (小学生,中学生,高校生)	フリースクールの月会費が高すぎるので、月会費が下がるようにフリースクールに援助して欲しいです。
滋賀	40代	保護者 (中学生)	不登校の原因も様々だと思いますが、不登校の子と学校通っている子、どちらもきっと課題を抱えていると思います。どちらにもケアが必要だと思います。
京都	40代	保護者 (小学生,中学生)	個人の特性により、学習スタイルの得手不得手がある中、戦後から続く一律の学習スタイルを変えていってほしい。個別の対応が学校でもう少し進むよう、教員の補充、学習指導以外の業務を教員から切り離しての分業など、先生の負担が減り指導に余裕を持てるような体制作りを進めてほしいです。
和歌山	50代	保護者 (中学生)	もっと、フリースクールなどの公的な居場所を増やしてほしい
大阪	40代	保護者 (小学生)	成績や体育テスト、道徳までも評価するばかりの学校教育ではなく、子どもたちが競争せず楽しんで多様な個々を尊重し合えるような学校にしてほしいです
大阪	30代	保護者 (小学生)	水族館では魚種によって生態に合わせた色々な水槽があるのに、個性色々の子どもたちが通うはずの学校は、現実的に地元の小学校一択なのは無理があります。「子どもに無理をさせて学校のやり方に合わせさせる」「合わせることができない子どもは見捨てる」のではなく、多様な在り方・成長の仕方を守ってほしいです。具体的には、今、不登校の子でも家庭に経済的余裕があればオルタナティブスクールやフリースクールに通うなどできますが、家庭に経済的余裕がなければできません。これを家庭の経済力によらず、選択できるようにしてほしいです。
大阪	50代	保護者 (小学生)	学校に行けない子どもが経済的負担なく気軽に通える場所を作ってほしい。
大阪	50代	保護者 (中学生)	本気で不登校対策に取り組んで欲しい。ここで大人の本気を見せないと日本の未来はないと思います。ひとまずできるところからでも、早急に取り組むことを考えて欲しい。少人数クラスはすぐにできると思います。これだけ不登校が増えていると言う事は、今の学校に問題があるということです。そこを理解して、新しい学校を作らずとも今ある学校を宗潤のような特別校にしたらいんじゃないでしょうか？本当に真剣に考えて欲しいです。
大阪	40代	保護者 (小学生)	原因を個人とコロナのせいにするのはやめてほしい。「学校の先生は、顔が違うだけで皆同じこと言ってて怖い」と子どもが言っている。先生にゆとりを。
徳島	40代	保護者 (高校生)	学校の勉強は楽しくない。
高知	50代	保護者 (中学生)	発達障害の子供の特性、関わりかたをもっと教育現場にいる先生方に学んでもらえるように積極的に対策を取っていただきたいです。また、各学校内でクラス以外に子供が入りやすくなる場所を設けていただきたい。
高知	50代	保護者 (中学生)	すべての学校に支援教室及び専属の教員を！
福岡	40代	保護者 (中学生)	過去最高の不登校人数を記録している理由を検討すべき。学校のあり方や画一化などが多くの不登校の子供を生んでいることに気付いてもらい、不登校の子供の進学先や生活の相談を往診のような形で行ってほしい。
福岡	50代	保護者 (小学生)	子どもの居場所づくり

熊本	40代	保護者 (中学生, 高校生)	中学生の息子が不登校です。高校生の娘も2年間不登校だった時期がありましたが、その後、嘘のように元気になりいまは様々なことに積極的に参加できるようになりました。その経験があるため、下の子の不登校(現在1年ほど経過)については深刻にならずにすみました。スクールカウンセラーの先生にも親である私が定期的にお世話になっています。不登校支援は当事者である子どもにスポットが当たりがちですが(もちろんそれが1番大事!)保護者のサポートにももっと力を入れてほしいです。不登校の子どもと向き合う時間が長い母親はこの状況がずっと続くのではないかと絶望的な気持ちになりがちです。相談のしやすさ、気持ちのほけ口があることも大事かと思います。私は朝の連絡をなくしたことで大きなストレスが一つ減らしました。また、毎月3000円を超える給食費を払い続けており、どうしても「もったいない」という気持ちになります。現に毎日自宅で昼ごはんを食べるので余分に経済的負担がかかります。相談して給食を切ってもらい給食費を払わない方法がありますが、「今日は行けるかもしれない」、「明日は給食を食べれるかもしれない」と、毎日綱渡りの状態なので安易に給食を止めてもらうという方法は取れません。給食費が無料であれば、給食費に関してのストレスも減ります。住んでいる場所によって対応の違いが出てくるので、国の支援で全国全ての学校で給食費の無償化が実現することを切に願います。
沖縄	40代	保護者 (小学生)	少人数学級を増やして欲しい。
沖縄	40代	保護者 (小学生, 中学生)	教員の数も足りず不登校の子を支援する先生がいない。支援員や教員を増やしたり少人数学級を！！
沖縄	40代	保護者 (小学生)	多様な学び・学校が求められていると思います。フリースクールへの公的な財政支援、フリースクールに通う児童生徒への公的な財政支援を切望しています。
沖縄	40代	保護者 (中学生)	不登校の子の学ぶための教育に公立以外だと費用が膨大になります。ひとり親なので環境を整えるのに大変くろうしています。
沖縄	30代	保護者 (小学生), 不登校当 事者の児 童・生徒	授業のあり方を見直すべき！もう教師が一方的に話す教育は遅い。子供達が学校や大人に対する不満感は強まり、学校行事も短縮されどどんつまらなくなっている。授業も長すぎる。昼休みは短すぎる。
沖縄	30代	保護者 (小学生, 中学生)	登校したくても出来ず、高校進学に影響がある事を本人は理解もしている為将来への不安が大きすぎる。 少人数の学級を作り登校できるようにして欲しいです。

現在不登校／3年以上～6年未満（48人）

都道府県	回答者の年代	属性	文科省へ要望したいこと
北海道	30代	保護者 (小学生, 中学生)	不登校児の親は仕事にも制限がかかることが多い。特別児童手当対象の保護者と同等に負担は大きい。経済的支援を設けてほしい。そうする事により仕事か子供の登校に時間を割くかという選択肢に苦しまれる事は少なくなり、子供にもっと寄り添って解決できると思います。
北海道	40代	保護者 (小学生)	市の専門機関への相談は混み合っていて、とても時間がかかり、家で親子で悩む時間が多く不安だった。はやく
北海道	40代	保護者 (小学生)	(先ほど途中で送ってしまいました) 市の専門機関への相談まで、混み合っていてとても時間がかかったので、悩んでいる子どもや親がまず話を聞いてもらえるような体勢が作られることを望みます。
秋田	50代	保護者 (高校生)	マスク強要や白い下着の指定など子どもの人権侵害がまかり通っている。いじめられた方にも問題があるという誤った認識の校長のいる学校がある。魅力的な子ども主体の学校・それぞれの個性を伸ばせる学校に改革して欲しい。「夢みる小学校」「夢みる校長先生」「夢パのじかん」のような魅力的な学校を求めます。
東京	40代	保護者 (中学生)	フリースクールへの補助金が東京都では2万円、出るようになったが足りないので増額して欲しい。もう少しタブレットを使って家からでも授業が受けられるようにして欲しい。各学校で対応しているため、地域によって差が出る。国でしっかりと推進して欲しい。 情緒級がない場合、知的に遅れがない発達障害児は普通級だと支援が少なくて不登校になる子も多い。情緒級を全ての市に配置して欲しい。

東京	40代	保護者 (小学生)	学校以外での学びの場をしっかりと作ってほしい。
東京	40代	保護者 (中学生)	各学校に負担させるのではなく、文部科学省がじかに取り組まないとダメだと思う。 学校にはそんな余裕がない。
東京	40代	保護者 (小学生, 中学生)	カウンセラーさんをもっと配置してほしい。労働条件や環境も良くしてたくさん雇用してほしいです。気軽に相談して良いという事がより良く豊かに生きる為の常識だ、というくらいに条件を整えていけば良いと思います。 また、上の設問の、その他に少し書いたように、子ども自身が何か行動しようと思った時、物理的に足を踏み出すための場所の移動そのものが高いハードルになる。通いやすい、交通の便が良い場所に、必ずしも居場所や支援機関がある訳では無い。子ども目線のタクシーや通所支援バスなど送迎、移動の為の支援が手厚ければありがたいと思う。
茨城	40代	保護者 (小学生)	教育費無償化を望みます。
埼玉	40代	保護者 (中学生)	不登校は子どもの学校教育に対するNOであるにもかかわらず、教育行政の中の人々が不登校の調査をしたところで、実態とはかけ離れは結果しか出ません。 文科省が教師に聞くのではなく、外部機関による公正な調査を望みます。
埼玉	40代	保護者 (中学生, 高校生)	他国の教育も参考にしてほしい。日本のやり方に無理があるのだと思います。
埼玉	40代	保護者 (小学生, 高校生)	現実はずっといるはず。不登校児童とまとめられているが、理由は様々。その真相を一人一人突き止めない限り終わらない。 不登校という言葉ではなく、別の言葉であってほしい。魅力ない学校に気づいた児童たちが、不登校とは。不登校児童ではなく、学校に行くことを選ばなかった、勇気ある子供たち。だと思う。 事件は現場で起きている。他人事のおじさんたちにはわからない。当事者の苦しみはわからない。 あなたのお子さんお孫さんが不登校になったらあなたはどのようにしますか？と言いたいですね。
埼玉	40代	保護者 (小学生)	親の負担軽減対策(様々な学校外の居場所や親の相談場所)を強化してほしいです フリースクールは定期的に通うには金額的に厳しいところが多いため、補助なども検討いただきたいです。
埼玉	50代	保護者 (小学生)	教師の労働環境の改善 教師のストレスは子どもに反映する
千葉	50代	保護者 (小学生)	教員の未配置など教員がたらず、子どもの学ぶ権利を阻害している。教員を増員して、子どもの変化に気づくゆとりと複数体制が必要。 スクールカウンセラーの配置も、学校基準ではなく、子ども100人に1人のような配置基準もうけるべき。
神奈川	40代	保護者 (小学生, 中学生)	不登校児2人を持つ母です。金銭的な支援が必要です。オンラインフリースクール代金2人(小4、中1)月に6万円以上かかっており、不登校で給食も食べていないので家庭の食費の負担が大きく、神奈川県では何も支援がないため、金銭的な支援をして欲しい。 また、家庭教師などの学費支援などでもして欲しいです。学校に行けない子供たちは、ほっとらかしです。 税金を不登校児をもつ家庭に使うって欲しい。 これだけ不登校児がたくさんいる中、国が支援をして下さらないという事は、子供たちが大人になった時の未来の日本にも影響してきます！何年後かではなく、今すぐ動いて下さい！！
神奈川	40代	保護者 (小学生, 中学生, 高校生)	一条校以外の学びの場を検討する際、費用がかかることで選択肢が限られてしまう。 補助金があれば、選択肢が広がります。
神奈川	40代	保護者 (中学生)	・通信制高校(サポート校)の助成金を増やしてほしい ・社会と繋がれる場・学力を身につける場を設けてほしい
山梨	50代	保護者 (高校生)	不登校と一口に言っても十人十色の不登校があります。人と関わりたいけど怖くて関われない人、人との関わりを望んでいない人、やりたいことを思う存分やりたい！と思いつながら出来ない人、などなど。不登校はそれぞれの個性の主張であり、特性だと捉えることが出来る教育現場、共生社会であってほしい、と思います。子どもを人として関われば、何を求めているのか自ずと見えてくるのではないかと私は思います。

静岡		保護者 (小学生, 中学生)	答えはもう出てると思います。子どもは素直で直感で生きています。行動で示してくれています。そして先生や親を、大人をよく見えています。大人が利権やしがらみなどで制度を変えることができない(やらない)だけ。国は、外にばかりお金を掛けずに、将来の日本を支える子どもに対してしっかりお金を掛けて育てる必要があります。子どもにお金を掛けない国は発展しません。給料も増えてないのに教育費の負担が大きすぎる。
静岡	40代	保護者 (中学生)	学校というものの概念を全く変えるような学びのあり方を考えていただきたいです。一人一人オーダーメイドの学習があってもいいのでは？
愛知	50代	保護者 (高校生)	いじめた側への指導、サポートも行ってほしい
愛知	40代	保護者 (小学生)	学校からも地域からも見放された子供たちがたくさんいるということを知っていただきたいです。フリースクールの月謝が高額で払えない家庭もあります。フリースクールの月謝の補助金をいただきたいです。すべての子どもたち、学校に行けない子どもも学びが受けられるようにしてほしいです。
愛知	40代	保護者 (小学生)	適応指導教室の決まり事が多い
愛知	60代以上	保護者 (中学生)	不登校にならないような学校教育(少人数学級、のびのびした教育、教師の余裕)を求めます。
愛知	60代以上	保護者 (中学生)	不登校を作らない学校教育(少人数学級、ゆとりあるある授業内容、教師の余裕)を求めます。
愛知	40代	保護者 (小学生)	学校がもっとゆい場所になればいいのでは？怒られに行くような場所に子供を通わせたくない。褒める9、叱る1、ぐらいにして欲しい。
岐阜	40代	保護者 (中学生, 高校生)	人口16万人の地方中核都市だが、フリースクール、学びの多様化学校が市内に存在しない。学びの多様化学校を自治体に一つ以上設置するようにしてほしい。フリースクールを認可制にするなどして施設と保護者の負担を減らしてほしい。
岐阜	40代	保護者 (小学生)	フリースクールへの金銭的援助をお願いします。子どもの学ぶ場は学校以外にもたくさんあると思います。
岐阜	40代	保護者 (小学生, 中学生)	不登校児童生徒の居場所などの対策をとることも大事だとは思いますが、「学校教育のあり方じたい」を変革していくことに力を入れてほしい。
三重	40代	保護者 (小学生)	個々の状況に合わせた支援を行ってくれる機関を作ってほしい。また、そこにたどり着けるシステムを作ってほしい。
三重	40代	保護者 (小学生, 中学生)	年間30日で不登校基準とあるが25日では不登校にはならないがSOSサインでもある可能性がある。不登校の出席日数カウントを無しにする
三重	30代	保護者 (中学生, 高校生)	学校や教育委員会以外で不登校について相談できる場所を作ってほしい。自助グループや相談先の情報がわかるようにしてほしい。子どもが学校に行ってみようと思えるようになって、学校の先生方がすごく忙しそうに相談しにくいので、先生が余裕をもって働けるようにしてほしい。
三重	30代	保護者 (小学生)	校区内の学校へ通うのが基本だが、市内であれば通う学校を自由に選べるようにしてほしい。先生の不適切な言動で不登校になっている子も結構いるので、子どもの無気力という学校側からの報告を鵜呑みにするのではなく、実態をしっかり調査し、先生への処遇も何かしら対応して欲しい。
長野	30代	保護者 (中学生)	不登校にも沢山のパターンがある。そのパターンに合わせた配慮や知識をもっと教職員が学ぶべきだと思います。

長野	40代	保護者 (高校生)	結局の所中学校は、高校受験も多分無理だからと親身になるどころか適当な所を受けさせて卒業させちゃえばOKというような態度に見えた。 高校は通信に転籍できる私立を選んだが、母子家庭で私立は入学準備も大変だった。 転籍するとさらにお金がかかった。 不登校で母子家庭で相談先もなく、手当もことごとく切られてしまい弱者に厳しい日本だと思う。 本当に必要な場所には手が回ってこない。 手当が切られてしまい、通学等のためにはより働かないといけない。しかしそれによって子供との接点は奪われていくので子供のメンタルも親のメンタルも回復しようがない。
滋賀	40代	不登校当事者の児童・生徒	学校以外の居場所をつくり、社会活動に参加できる場を作って欲しい
滋賀	40代	保護者 (中学生)	こんなに不登校児が増えているのは、個々の問題ではなく、今の教育そのもの問題があるからではないか。一人ひとりの子どもの成長や学びを保障してほしい。
大阪	40代	保護者 (小学生)	少人数学級、教員の人数を増やして負担を減らし、もっとゆったり余裕を持って子どもたちと関わられるようにしてほしい。 不登校の子どもにも訪問したり、一対一で関わられる日がとれるようなゆとりを作って下さい。
大阪	40代	保護者 (中学生)	教室に入らず小学生高学年から不登校の中学3年の息子がいます。 担任、学校からの電話連絡は月に1回ほどで学校との繋がりもなければ学校外での繋がりもなく引きこもりになっている状態です。 どこに相談したらいいのかもわからず親子で辛い日々を送っています。 高校進学にあたりエンパワメントスクールを希望していますが定員オーバーなようで毎年落ちる子もいるようで今から不安です。 不登校の子が多い今、高校進学で経済的にしんどくならない、中学の学び直しができる公立高校がもっと必要だと感じます。
大阪	40代	保護者 (小学生)	少人数学級の実施、教職員の増員
大阪	40代	保護者 (小学生)	勉強は、気持ちと時間とお金があればいつでもできますが、子どもの時の経験、体験、発見は、その時にしかできないので、その機会を学校以外でも作ってほしい。 不登校の呼び名の変更。「不」という文字より、前向きな意味を持つ文字を使ってほしい。
大阪	50代	保護者 (中学生)	学びの場を確保するために、海外のようにギフテッド教育や、理解を進めてほしい。
兵庫	40代	保護者 (小学生, 高校生)	学校の仕組みを根本から立て直してほしい。 古い考え方をやめてほしい。 右にならえの教育はやめてほしい。 神戸市の兵隊的な指導、私語を軍隊のように注意したり、行進(整列の正しさ、授業態度の強制的指導)や規律にこだわるのはもうやめてほしい。ルールは生徒に決めさせるなど、新しい発想がこれからは必要になると思います。
兵庫	40代	保護者 (中学生)	受験競争も子どもの豊かな成長を妨げていると思う。そのシステムがある限り、学校に行っても行っていないくても親も含めて家族が、経済的にも精神的にも追い込まれている現実があることを知ってほしいです。
兵庫	40代	保護者 (小学生, 高校生)	不登校で困ることが勉強の遅れ。特に中高。せっかくタブレットがあるのに授業で使ったプリントを答え付きでほしいことが何度もあった。休んだ人に授業プリントは渡されるが解答はなく授業をうけていないから何が正解かわからず参考になできない。学校に言えば答えをくれるが学校まで親がとりにいく前提。不登校者にむけて使用した授業のプリントと答えをセットでUPしてもらえたら特に副教科はたすかる。 要はタブレットが生かされていない。 連絡や相談などタブレットでできたら便利なのが沢山ある
島根	40代	保護者 (小学生, 中学生)	現実を、きちんと見てください。 子どもは、未来です。 学校に行けない、行かない子どもたちがこんなにも増えたという現実を、目を逸らさず見て、大人は何をしなければならないのか、一緒に考えて下さい。 各自治体にたくさんの学びの場(公立のフリースクール!)があり、親の賃金格差を気にせず、どこに行っても誰もが平等に安心して学び、認められる社会を作っていきます。 安心して生きれる今と、これからを創りましょう！ よろしくお願い致します。

福岡	40代	保護者 (小学生, 中学生)	子どもは、自分の好きな事を学べる学校に行きたいと言っています。そんな学校が小学校から行けるといいなと思います。
----	-----	----------------------	---

現在不登校／6年以上不登校（12人）

都道府県	回答者の年代	属性	文科省へ要望したいこと
北海道	40代	保護者 (中学生)	先生たちも忙しすぎて、不登校の子の対応にまで手が回らないんだと思います。少人数学級にして、クラスの子に目が行き届くよう、先生方の負担が軽くなるようにしてほしいです。
東京	40代	保護者 (中学生, 高校生)	少人数であれば、子どもたちが落ち着いている。とスクールカウンセラーがコロナ禍の時に言っていた。そして不登校だった子どもたちも、クラスに入れる子どもたちがグッと増えると、一刻も早く少人数学級を進めてほしい。そしてそのために、教師の待遇を一般企業と同じまでに引き上げてほしい。
埼玉	40代	保護者 (小学生, 中学生)	学校行かなかつたら、お金と親の負担がかかりすぎる。学校の中の居場所としては、教室に入れない子の中にも色々なレベルがあるので、いくつか教室があるといい。先生の数をもっと増やして。また通所受給者証の上限設定が極端すぎる。少し収入があるだけで、上限が高くなりすぎているので改善してほしい。
千葉	40代	保護者 (中学生)	<ul style="list-style-type: none"> ●審査が必要のようですが東京都で、フリースクール等の支援2万円のように、千葉県も支援して欲しい。 ●最寄りの不登校カフェへ、週2日通うと1ヶ月で2万円掛かります。 ●たまに行ける不登校の子どものため、学校の給食費を払い続けています。 ●一般的に学校へ通わせるべきと言う国の方針なら、色々な事情があるので給食費は無償でないとおかしいと思います。 ●とりあえずは細かい単位で、給食を断れるようにして欲しいです。 ●不登校支援カフェへ金銭面の支援を！不登校児を募集してお店が潰れたらやっとならぬ子どもはどうなりますか？熱意のある支援員の方々は貴重です。 ●小学校と同じく、中学校にも校内フリースクールを！発達障がいクラスはいっぱいで、グレーゾーンの子・かんしゃくを起こしやすい子の落ち着ける場所にもなるはずです。よろしく願います！！
愛知	40代	保護者 (小学生, 中学生)	名古屋市は、フリースクールの助成制度がなく、経済的な負担が大きいので、助成制度を作ってほしい。
愛知	50代	保護者 (中学生)	不登校は個人だけの問題ではない。皆が楽しく通える学校のシステムはなにか？という視点で、考えてもらいたい。
愛知	40代	保護者 (小学生, 中学生)	今の給食費無償化運動には概ね賛成だが、不登校児童やフリースクール、ホームスクールの児童のことも考慮してほしい。学校に行っている子どもだけが保障されるのは不公平に感じてしまう。
岐阜	40代	保護者 (中学生)	少子化が進んでいる中、悩みを抱えている子供たちを放置すべきではなく、活躍の場を作る必要がある。また、不登校は子供だけの問題ではなく、その家族へも波及する問題であり、不登校問題は大きな社会問題である。
岐阜	40代	保護者 (中学生)	子どもが逆らえないのを良いことに教師のいじめをもみ消す体制、横暴な教師など、誰のための教育を行っているのか、原点に戻って体制を考え直して欲しい。心身ともに壊された我が子はもう戻らないけれど、将来の子どもたちに同じような思いをさせない体制を作ってほしい。不登校児を切り捨てないでほしい。時が過ぎて、子どもでなくなったら、問題にもあがらないが、そんな子たちを救い上げる施策を整えて欲しい。
三重	50代	保護者 (中学生, 高校生)	一律的な指導・対応をする学校の制度上の問題により、HSCや発達障がい等の特性を抱える子どもたちは学校へ行きたくても行けず、「学校に行けない自分」ということで自己肯定感が低くなり、ひきこもりへとつながるケースもあります(三重県ではひきこもりの25%が不登校由来と言われています)。何年もひきこもった状態から引き出そうとするよりも、小中学生のうちに学校外の居場所につなげた方が、アウトリーチするにもはるかに労力は少なく、また社会的に自立できる可能性も高くなります。不登校状態にある小中学生は義務教育中であり、義務教育中の子どもたちの学びの機会を保障することは社会の義務だと思えます。フリースクールへの公的支援、フリースクールへ通う保護者への経済的支援を強く望みます。

大阪	40代	保護者 (中学生)	<p>教育機会確保法で学校以外の学びを選択できるとしたにも関わらず、その費用負担は保護者にかかっています。現状では、家庭の経済状況によって学校外の学びを選択できる子とできない子が生まれてしまいます。どの子にも学びの機会を保障するために国として経済的支援をしてください。(フリースクールやオルタナティブスクールを選んだ家庭への経済的支援など)</p> <p>報道によると不登校の要因が「やる気が出ない」「不安・抑うつ」となっていますが、これは悩みながら、苦しみながら、我慢しながら学校へ行った末に不登校になった結果、このような状態が見られるのであって要因ではありません。いつまでも不登校の原因を個人の問題にすりかえていては何の解決にもなりません。毎年教員への聞き取りをされていますが、併せて当事者・保護者への聞き取りもしてください。</p> <p>また、文科省担当者は「不登校が休養や自分を見つめ直す機会になるとの認識が保護者間で広がった」と分析されているようですが、最初から積極的に不登校を認めている親はいないと思います。結果的に認めざるを得ないほど学校に通わせる意義を感じなくなっているのです。キラキラした目で入学した子どもたちが、たった数ヶ月、数年で学校に絶望して行くのをやめてしまっている現状を受け止めてください。不登校は増え続け、教員希望者は減り続け、病休の先生も高止まり。今一度、公教育あり方を考え直すときです。</p>
大阪	40代	保護者 (中学生)	現在の学校は、こどもにとっても教師にとっても息苦しい場所になっていると思います。先生達の処遇改善と同時に、不登校の子ども達の居場所作りも必要だと感じています。

教員、スクールソーシャルワーカーなど教職員(17人)

都道府県	回答者の年代	属性	文科省へ要望したいこと
岩手	60代以上	教員、スクールソーシャルワーカーなど教職員	子どもたちが安心して生活できる学校であるように、気軽に話せる大人がたくさんいること、そのために早急に正規の教員を増やしてください。同時に子どもの思いや話をしっかり聞き受けとめる場となってほしい。行き過ぎた校則、学力一辺倒や周りとの同調を強要する指導がなくなるようにしてほしい。
秋田	60代以上	教員、スクールソーシャルワーカーなど教職員	就学前の幼稚園保育園との連携機能の見直しをお願いしたい。理由は余りにも就学前と小学校のギャップについてこれないお子さんもいて二年生頃不登校気味になるお子さんが増えている 夏休みまでは学習より生活習慣指導に費やす。
東京	30代	教員、スクールソーシャルワーカーなど教職員	不登校の問題は現状の教育システムが子どもたちの学ぶ権利を保障できていないという問題です。不登校の子どもがゼロになる事はないわけですから、学校に行かなくても教育を受ける権利が保証された状態にならない限り、不登校は問題であり続けるのだらうと思います。学校での対応はもちろん進められていますが、人員や業務量の問題もあり多様なニーズに応えるのは難しい状態です。あくまでも不登校をシステムや仕組みの問題として捉え、対応を進めてほしいと思います。
東京	60代以上	教員、スクールソーシャルワーカーなど教職員	日本中で41万人もの不登校の子供たちや中学生高校生が出ているという事は「異常な非常事態」です。 子ども達に、生徒たちに、直接届く支援者をもっと多く養成して、子ども達、生徒たちに必ず支えが届くように、人材育成を行い、実際にそのサポートを迅速に届けてください!!
千葉	60代以上	教員、スクールソーシャルワーカーなど教職員	教育に自由を
岐阜	60代以上	教員、スクールソーシャルワーカーなど教職員	フリースクールの利用助成。運営への柔軟な支援。今の制度は、該当できない事業者も多い。ボランティアで不登校支援をしているのが、現状。行かせたくても、料金を払えない保護者もいる。 潜在的ヤングケアラーの存在。根本に、貧困がある。
長野	50代	教員、スクールソーシャルワーカーなど教職員	教員の数を増やす。

福井	40代	教員、スクールソーシャルワーカーなど教職員	不登校の児童が、社会人になれるようにしていくには、公的な機関とのつながりを確保する必要がある。また教職員には、不登校を防ぐよう、様々な調査や教育政策がおりてくる。しかし、現状は、多様な子どもを受け入れて、不登校を出さないような環境づくりが大切だと、日々研鑽している。自分の家族を犠牲にしても頑張っている。不登校の子どもを出させないためにも、教職員に余裕持って授業ができたり、児童対応にあたりたりできるよう、教職員の数を増やしてほしい。規模にもよるが、一つの学校あたり、役職のない教職員が1～2名いるだけで、1人あたりの余裕がかなり違う。その分児童対応にあたれる。政府のみなさん、文科省のみなさんは、まずは公立の学校の現実をみてほしい。学校だけが頑張っても不登校の数は減らない。社会全体で、経済的、精神的な余裕がでてこない、不幸な児童が増えるだけです。
大阪	60代以上	教員、スクールソーシャルワーカーなど教職員	学校を卒業してからの就職先が無い。仕事をしなければ生きては行けない。国が責任を持って生活出来る様にして欲しい。
大阪	60代以上	教員、スクールソーシャルワーカーなど教職員	中学校少人数学級はぜひ実施してほしい。別室登校に対応できる教員の確保がほしい。地域のフリースクールに補助金を。出席扱いしてほしい。軍事より子どものことにお金使ってほしい。
大阪	60代以上	教員、スクールソーシャルワーカーなど教職員	教師を増やし、少人数学級にする。全国学テやチャレンジテストなど、テストを減らす。
大阪	40代	教員、スクールソーシャルワーカーなど教職員	学校では校内の居場所作りを行うなど不登校の対策は持たれていますが、不登校児童生徒の数は多く、一人一人の状況をしっかり分析した対応はできておらず、担任の先生の裁量に任せられているのが現状です。不登校対策を行う人材の必要性和、地域に偏らず、居場所や相談場所が必要だと考えます。
高知	50代	教員、スクールソーシャルワーカーなど教職員	学校のカリキュラムを減らしてください。子どもや大人への負担が多すぎます。クラスの規模も小さくしてください。
福岡	60代以上	教員、スクールソーシャルワーカーなど教職員	現在の不登校は、いじめとかヤングケアラーとか理由がはっきりしている場合だけでなくとても複雑です。子どもを取り巻く環境は厳しくなる一方で。給付金のようなお金をバラまくだけの政策では子どもは救えません。
佐賀	50代	教員、スクールソーシャルワーカーなど教職員	先生たちが忙しくて別室登校の子どもと向き合う時間が取れまていません。少人数学級の実現は必須で、先生たちの仕事量の見直しや教員増も大事だと思います。市が委託したNPO法人から別室支援員として派遣されています。支援員の待遇もあげてもらいたいです。
沖縄	30代	教員、スクールソーシャルワーカーなど教職員	「教員が少ない」と学校側や教員や生徒は困っているのに教員試験をもっとハードルを下げて需要を増やしたらいい。教員への給料が払えないのなら政治家の給料を下げ、未来の宝「子ども」がいる教育現場に投資するべきだ。教員の精神疾患、早期退職は学校現場や教育委員会、行政、のやり方を変えない限り、学校現場は崩壊していくだけ。教育現場の大変さや大切さを分からない行政や政治家には変えられない。中には保育現場、教育現場を経験した議員さんもいる。この状況をどうにかしたいという必死な想いで議員になり、必死に頑張ってくれている。そういう経験者の意見を優先に行政も動いてほしい。学校に行く必要がなくなっているこの時代を何とか改善してほしい。
沖縄	30代	教員、スクールソーシャルワーカーなど教職員	学校内に不登校教室を作ったところで、そこへにも行けない子供はどうするの？

地域の方(80人)

都道府県	回答者の年代	属性	文科省へ要望したいこと
北海道	30代	地域の方	不登校なのに学校給食費が請求される家庭があります。止めれることを知らせてあげて欲しいです

青森	50代	地域の方	<ul style="list-style-type: none"> ●良い子ばかりを量産しないでください。 ●子どもたちの変化に気づける、声をきける、子ども達と心から遊び、楽しむ時間を持てるよう、教員の働き方の見直しを。 ●勉強だけが全てじゃない、人との関わり、心の醸成を見守るのが、学校だと思います。 <p>学校という居場所も必要ですが、そこに適応できない子どもも増えています。思い切って、学校以外の居場所にも予算を！</p> <p>フリースクールなどに。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●教員不足で、授業以外の多くの業務に忙殺される学校となっているのなら、あらゆる専門家を学校に投入してみては？ ●不登校専門に対応する心理士、カウンセラーなど。 ●とにかく、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤーなどの配置も各校に。
岩手	50代	地域の方	子どもに寄り添える教師や親が、時間的に余裕が持てるような労働環境の整備を政府いったいとなって考えてほしい。
秋田	30代	地域の方	大昔ですが、農村では大人も子ども混ぜて農作業していた時期があり学校も合わせて休んでいました。家や地域の手伝いが当たり前だった時代から人や自然との距離やが離れたり、生き物を大切に作る体験も無くなり社会が変わった事で、引きこもりや相次ぐ過労死寸前の教師が増えて来たのではと思っています。
秋田	60代以上	地域の方	特殊なことにしないでほしい。学校に行かないことはべつにだめでもなんでもない。ということから出発し、子どもの伸びる力、休みたい気持ち、学校に行かなくても社会人になれる仕組みをつくって充実してほしいと思います。
宮城	60代以上	地域の方	<p>①こどもたちが、自己責任論でバラバラにされるのではなく、こまったときは助けてと発信することが自立であるという人間観の根本転換が第一に必要である。</p> <p>② 教職員の数を増やし現場に余裕を。</p>
宮城	60代以上	地域の方	学力試験の中止、ゆとりあるカリキュラム、学力一辺倒でない授業の構成を考えていただきたい。勿論25人位の少人数クラスを早急に、楽しく通える学校づくりを、そして教師を増やして欲しいです。
福島	50代	地域の方	教師と子供が信頼関係が築ける間になっていること重要 先生と生徒でなくお互いリスペクトできる関係
福島	60代以上	地域の方	教員の働き方の改善、学習の意義の回復、格差是正、個々の児童生徒の尊重
東京	50代	地域の方	上記「その他」の回答と同じ
東京	60代以上	地域の方	様々な学びの場の保障、選択肢の開示、がっこうそのものの大胆な改革。
群馬	60代以上	地域の方	少人数学級を実施して欲しい。不登校で保健室通いをしていたので、学校内に居場所を作って欲しい。親同士の交流で相談できる場所を増やして欲しい。
群馬	30代	地域の方	先生方の負担が大きすぎること。 少人数制や副担任制など先生方の負担が減らせるようお願いいたします。
茨城	60代以上	地域の方	学校外の居場所づくりを行政がつくるべきだと思う。
埼玉	50代	地域の方	不登校含む全ての子どもたちが、安心して学べる場である学校作りのためには、当然人もお金も時間も充分に必要です。当たり前のことです。その基本の上で、今現在不登校で辛い思いをしているお子さんご家族に真摯に向き合っていたきたいと思います
埼玉	60代以上	地域の方	先生の数を増やして子供達に寄り添える環境を余裕のある学校生活できるように、予算を！
埼玉	60代以上	地域の方	給食費、材料費等は、使用した分の請求にしてほしい。 フリースクールにかよう子どもたちに、金銭てき負担補助をお願いします。
埼玉	50代	地域の方	多様性というのはジェンダーの問題だけでなく、通学、進学など全てのことがそうある方向にひらかれていくのが理想。 学校、教育委員会(文科省)などをもっと外の情報を取り入れて。少子化の心配をしながら、その少ない子どもを大切に育てなければ。大人の思う形にはめ込むのではなく、その子に合う進み方を認めながら、ゆっくり育ててほしい。そして、そのための予算を財務省から取ってきて～。 多様化しているなら、その分手は必要。教員だけでなく、もっと違う人材を入れていくのも良さ。
千葉	50代	地域の方	学校が子ども達が安心して過ごせる場所になっていません。 教職員が忙し過ぎ、未配置など子どもの学びが保障されていません。教育予算を増やして、どの子も(不登校も)安心して休めたり、学べたりできる環境作りをお願いします。

千葉	60代以上	地域の方	一人ひとりの声を聞ける教育体制に変えてください。
千葉	60代以上	地域の方	○少人数学級を実施して教員も増やして、学校が子どもにとって安心して過ごせる場所となるよう改善してください。そのための財源を確保してください。 ○学校内に不登校の子どもの居場所が増えていますが、そこに通う子どもに登校へのプレッシャーをかけないでください。 ○学校は、人の自立を育む場所だと思っているので、詰め込みや効率といった視点を持ち込まないでほしいです。
千葉	60代以上	地域の方	現在 困っている当事者や保護者の声をきちんと聞いて欲しい 対応できる教職員を配置して欲しい
神奈川	30代	地域の方	教職員の激務が学校の雰囲気悪くしている。事務職員を配達するなど、子供の身近に居る教師の環境を良くしてほしい。
神奈川	60代以上	地域の方	少人数学級を早急に進めて、先生を増やしてほしいです。 不登校の子どもの公的支援を手厚くしてほしいです。
神奈川	60代以上	地域の方	学校制度そのものを見直さねばならない時期にきていること。 教員の待遇改善を。人員増加を。まず少人数学級を。 数値にとらわれるのではなく、子どもたち、親たちを取り巻いている社会状況に目を向けること。 「不登校ビジネス」と言われるような、経済産業省主導の現況にもっと危機感を持ってほしい。文科省に頑張ってもらいたい。 こどもたちの声を聞いてほしい。 「こどもの最善の利益とは何か」
神奈川	60代以上	地域の方	全ての子どもの健康を守るために、 学校以外でもどの開業医でも健康診断を受けられるようにして欲しい。また、異常があった時も家庭にすぐに連絡して欲しい。 税金で全ての子どもが健康診断を受けられるようにして欲しい。 安全に学習や遊べる居場所を学校以外にもどんどん作って欲しい。そして、そこに公的支援をして欲しい。
神奈川	50代	地域の方	何より少人数学級と先生を増やしてください
神奈川	60代以上	地域の方	子どもは幸せになる権利があります。子どもたちの居場所をたくさんつくる為に、予算を増やして下さい。
山梨	50代	地域の方	子どもの学習権の保障、地方自治たいでの子どもの権利条例制定
山梨	60代以上	地域の方	不登校にはいろんな理由(本人もわからない)があります。学校は管理と競争で教職も児童、生徒、保護者もクタクタ、イライラ、忙しいです。ゆったりと子どもと職員が時間を過ごせる学校にして欲しい
山梨	60代以上	地域の方	子どもは学校に行きたいんです！でも行けない。担任も理解はしてくれるが手立てがない。 子どもたちの性格、考え方、受け取り方なども多様化しているので、学校も多様化を受け入れ、さまざまな対応ができるようになって欲しい。また、教員の指導方法も改善されるべき。 高校は義務教育とし、出席日数で縛らないで欲しい。
静岡	40代	地域の方	教育者側に、心身共に余裕ある教育が提供できるような環境へ整えてほしいです 個別支援の充実が図れるように、十分な教員の配置を望みます
愛知	50代	地域の方	学校のありかたを、子ども中心に根本から見直す必要があります。対応してください。
愛知	50代	地域の方	自動精神科医などの訪問してもらえる制度
愛知	60代以上	地域の方	目が行き届く少人数学級の実現、不登校中の給食を何時でも利用できる権利、学習権、居ても良いという権利を保障するための施策を整備してください！
愛知	50代	地域の方	先生も生徒もゆとりのある社会を
三重	40代	地域の方	学校がハードルの高いところになっていると思います。楽しい場所にする努力をして欲しいと思います。
三重	60代以上	地域の方	相談出来る人また信頼出来る人が本人の周りに一人でも必ず、存在している事の有無で、生活に変化が出てくる。 不登校にも様々なスタイルがあるので、スクールカウンセラー等の精神面をケアできる人材育成スタッフの増員を希望する！

三重	60代以上	地域の方	不登校問題の一因にコロナ感染後の後遺症の影響があるとも言われています(アメリカやイギリスなど現在社会問題になっている)この点も科学的な視点でしっかり見ていくべきことであり学校での感染症対策をきちんと行うよう働きかけをしていただきたい。政治的思惑で子どもの未来が左右されないよう配慮が必要。
三重	60代以上	地域の方	国語の教科書を読む順番が回ってきたとか保育所の友達がひとりもいないとかでストレスがあったのか近所に5年生が引っ越してきて来て引っ張って行ってきて10日ぐらいで行けるようになりました。40年前の話です。
三重	60代以上	地域の方	不登校児が増えている中、オルタナティブスクールに通おうとすると経済的負担が大きいです。公立校に通えない子どものためにその受け皿になっているフリースクールやオルタナティブスクールに対する経済的支援があればと思います。
三重	50代	地域の方	不登校生徒の増加は、今の学校教育が子どもに合っていない現れ。フリースクールなどの拡充を望む。教員の増員、学校施設の整備など、教育に予算をかけ、子ども達、先生方にも、充実した教育にするべき。
三重	50代	地域の方	学校、教師、子ども達が困っている事に現場の声、子どもを尊重するならば子どもの自由な意見を聞く姿勢がほしいです。国の方針に縛られれば縛られる程不登校、自殺は増えるばかりかと。子ども、先生は疲弊しています。自由に学びたいものを学びたいところで分ける事なく学びワクワクする場所になれ
三重	20代	地域の方	不登校問題は今も昔もありますね。今では学校以外の場所に居場所を作る取り組みが行われてきていますが、そういった場所をもっと知ってもらい、もっと広がればと思います。我が子達はまだ園児ですが、行き慣れた園でさえ既に行きしぶりがあり困っています。園児でも参加させられる場があればなと思います。
富山	60代以上	地域の方	親がゆとりある生活ができるようにまずは経済的改善 個別に支援できる体制と教員支援者の増員 退職教員の再雇用 今の子どもが抱える問題はどんどん複雑化しています、昔は良かったでは片付けられない。高齢者と子どもを繋ぐ場が学校の中にあって欲しい。
富山	60代以上	地域の方	不登校になる理由はさまざまですが、学校が安心できる場所ではない事の証左です。基本的に教職員を増やす方向で予算付けをお願いします。
長野	60代以上	地域の方	世間に慣れるのが苦手なこの子たちの居場所や人とあまり関わらずに働ける場所を提供してほしいです。
長野	40代	地域の方	もうそろそろ目覚めて 洗脳教育から解放して上げて欲しいです～ 本来の人間に生まれ変わる時代ですよ 自殺者も無くしましょう
長野	50代	地域の方	家庭環境も含め、家族だけで抱えさせないことも要望とする
福井	60代以上	地域の方、 不登校当 事者の児 童・生徒	道徳教科を廃止する。何でも点数化する教育からの脱却。本当に必要な学力をつけるために、指導要領を見直す。ひとりひとりの子どもに目が向けられるよう担任と副担任を配置する。 教職員を増やし、「不登校児」についてきちんと学ぶ環境を整備する。ただの対応策ではなく。 子どもはしんどさを共有してくれる大人がいれば、安心して学校に通えると思います。
福井	60代以上	地域の方	教師がゆとりを持って生徒に接する事ができるよう少人数学級の実現 クラスにいじめがあったら早くに対処し本人に安心させられるようクラス運営に心がけてほしいです。
福井	60代以上	地域の方	1, 先生を増やしてイジメのない、生徒に寄り添える余裕のある学校にしてほしい。 2, 学校以外の居場所で学びを保障してほしい。
福井	60代以上	地域の方	学校内に安心して居られる場所の確保、先生方も気を配られる時間余裕を！
福井	60代以上	地域の方	我が娘は、高校は中退しましたが、大検で大学受験資格を得て、9年かけ通信で大学4年を卒業することができました。心の悩みから脱け出せたとき、学ぶ道が何通りもあることを教えてくださり、時間はかかっても夢が実現できる社会を望みます。よろしくをお願いします。
滋賀	50代	地域の方	とてもお世話になった、スクールカウンセラーさんの働き方の改善。待遇えおよくして欲しいです。
滋賀	60代以上	地域の方	教員を増やす事。少人数学級や、副担任を置くなど、子供達にゆとり関わる時間を取る事。教師の雑用を減らす事。詰め込み教育をやめて、わかる授業にする事。個人の個性を大切に教育をする事。いじめている方の原因と対策をする事。

京都	60代以上	地域の方	本来学校は楽しい場所だと思います。勉強の学びだけでなく、友達との遊びのなかでも学ぶことはたくさんあります。今は子ども達が窮屈な学校生活を送っていると聞きます。それでは本来子どもの持っているチカラが発揮されないと思います。少人数学級実施や先生を増やして、子ども達が安心して学べる学校を作りたいです。また多様な学びを保障するという名目でフリースクールや居場所が沢山出ています。それを全て否定しないけど、その役割りを学校が担うようにしてほしい。その為に教育予算を増やしたり教育内容を充実してほしいです。
和歌山	60代以上	地域の方	競争教育をやめてください。
大阪	60代以上	地域の方	早い対策をとってほしい。 子どもはどんどん年齢をかさねるので、 スクールカウンセラーを増やしてほしい
大阪	30代	地域の方	①学生のカウンセリングの無償化。 ②精神科に行きやすい環境作り ③いじめをなくすための人権教育 ④フリースクールなど学校の多様化
大阪	40代	地域の方	ほとんどの問題は、少人数学級で解決できるかと思います。相談できるような機関を学校外に作るより、学校内に常駐のカウンセラーを配置し、カウンセラーとの距離を縮める事が大事だと思います。また、教室に通えない子どもたちの教室を作り、教室に行けなくても学べる環境を作りたいと思います。
大阪	50代	地域の方	もっと、地域の当事者や家族の声をまっすぐに受け止めてください。先生を増やして、受け皿として余裕ある対応ができるようにしてください。地域とのつながりが薄い家庭には、学校しかありません。サポート体制を民間に頼る、任せる、のではなく、まずは学校の余裕を作っていくことが初手になると思います。初動をまちがえないでください。
大阪	10代	地域の方	子どもの声を聞いてほしい
大阪	60代以上	地域の方	教師を増やして少人数学級実現、 学校の状況により、保健室の先生複数配置 教室以外での学びの場の確保と専門の先生の配置 フリースクールへの支援
大阪	40代	地域の方	支援学級の担任は、支援学級専門の資格所持者にして欲しい。 家庭科から回せられた先生が、担任持つのは難しい。
大阪	60代以上	地域の方	教職員不足、1クラスの児童数が多く、担任など教師の負担が多いことが、不登校児童や生徒を増やしている1因と思う。また、中学校では、試験の多さが問題。
兵庫	50代	地域の方	不登校の子どもたちは、今の教育現場に対して、違和感を感じて不登校になっていると思う。 不登校であっても、そんな事を受け入れる環境を、望みます。 特別扱いではなく、『あー今日は来れなかったけど、明日は来たらいいね』といったような、ゆるい受け入れ態勢があったら、いいと思う。 教員の人数を増やしてほしいです。
兵庫	40代	地域の方	とにかく、学校、教育にかかる予算が低すぎるのが問題。 先生も子どももいきたくない学校って何なんですか？ 先生の質も国がきちんと担保してほしいです。国立大学の教員養成課程にも力を入れて欲しいです。
兵庫	60代以上	地域の方	子供たちにとって学校での相談相手は教員です。全国的に教員不足が指摘されています。教員不足の解消とともに、教員達にとって働きやすい環境、労働条件の改善を求めます。持ち帰り業務、クラブ活動など激務と聞いています。1日も早い対策を要望します。
岡山	60代以上	地域の方	家庭でも教育が受けれる体制づくりをして欲しい。学校へ行くことが全てじゃないと思います。学校へ行けば、勉強は教えてもらえるので、受ける側にとっては簡単ですが、指導者がいない勉強は暗くて辛いと思います。だから、学校へ行こう、って思えない、未成年の現状を理解してやって欲しいのです。
広島	50代	地域の方	学力をつける、点数を上げるための対策ばかりでは子どもの心が置いてけぼりにされてしまうことがもうはっきりしました。子どもの発達段階、学びたい気持ちのベースにもなる遊びや休養の大切さなど、子どもの権利条約に沿った環境作りが必要だと思う。子どもの変化に気付けるように先生の業務改善、子どもの発達・心理の専門家の常駐、など、学校に行く子がいなくなる前に急務の課題として取り組まなければならないと考えます。

高知	50代	地域の方	小手先だけの対処ではなく、なぜ不登校児が増えているのかという社会背景もよく考えていただきたいです。
愛媛	40代	地域の方	スクールソーシャルワーカーとしてリタイヤした教職員の先生を配置するのをやめてほしい。家庭や生活視点で専門的にフォローする精神保健福祉士や社会福祉士を正規雇用として全市町村に配置してほしい。パートタイムは意味がない。
福岡	50代	地域の方	過度な学力競争の教育ではなく、誰もが楽しくわかる勉強、安心して通えるような学校づくりを公教育として行って欲しいと思います。
佐賀	60代以上	地域の方	学校の体制作りに尽力してください。先生に余裕を、正規採用な先生を定員にみたすよう、、給与面での大幅増を望みます。非正規など学校にはありえない処遇です。管理教育をやめ、正しい歴史感に添った科学的な教育を。
熊本	60代以上	地域の方	親が仕事や金銭面で追い詰められて居ると子供と向き合う事自体余裕が無くなります。日本の将来を考えるのなら、子育てしやすい環境を創ってください。
鹿児島	50代	地域の方	学校はどうしても合わない子がいることを前提に、オルタナ教育の充実と、経済的負担を無くしてほしい
鹿児島	50代	地域の方	教職員の人数が圧倒的に足りない中で、療育対象児童が増えているために先生たちが疲弊している 先生たちが手一杯の中、療育対象児童は置き去りにされそれが不登校に繋がっているケースも多い なので先生の数を増やして欲しいです そのための対策をどんどんやって欲しいです よろしくお願いします
沖縄	50代	地域の方	・学校でこそ子どもの権利条約を実施して欲しい。・先生方の評価システム廃止や全国学力テスト廃止。先生も子どもも競争させるのをやめて。・全ての事に対して子どもの意見を聞くだけでなく意見を反映させて欲しい。・自殺が多いのは異常。その年齢に合った性教育で人権意識高めて欲しい子ども、先生を苦しめているのは何か地域や大人、子ども話し合いできる場を作って欲しい。
沖縄	60代以上	地域の方	「税金」を軍事費に使わず「教育」や「老人介護」に使って下さい！